

本章では、平成22年度調査で課題のあった設問の通過率が上昇した学校・地域の指導事例や、成果の上がった学校の特色ある取組を掲載している。

これらの取組を参考に、各学校において児童生徒の実態に合わせて指導内容・方法を一層工夫し、授業改善を推進していただきたい。

(※ 継続的な課題となっている設問のうち、平成23年度調査で最も通過率の低い設問は、第1章に指導改善のポイントを掲載している。)

## I 指導事例

【小学校国語】

課題1 「要点の聞き取り」 P. 56

【小学校算数】

課題1 「伴って変わる数量」 P. 58

課題2 「直角三角形の作図」 P. 60

課題3 「長方形の判断」 P. 62

【中学校国語】

課題1 「段落相互の関係の把握」 P. 64

課題2 「登場人物の心情の把握」 (※第1章 指導改善のポイント P.13)

課題3 「行書の基礎」 P. 66

【中学校数学】

課題1 「関係を文字式で表す」 P. 68

課題2 「相対度数の意味」 (※第1章 指導改善のポイント P.16)

課題3 「比例の意味」 P. 70

【中学校英語】

課題1 「適切な語を用いた会話文の組立」  
(※第1章 指導改善のポイント P.18)

課題2 「話の流れの理解」 P. 72

課題3 「つながりのある英文を書くこと」 P. 74

## II 成果の上がった学校の特色ある取組

廿日市市立佐伯中学校の取組 P. 76

三原市立久井中学校の取組 P. 78

府中市立国府小学校の取組 P. 80

※ 中学校の事例は、中学校学力向上対策事業の指定校の取組である。